宇佐議会

宇佐市議会広報誌
第40号
平成27年2月5日発行
発行／宇佐市議会
直通:0978-32-2328
Fax:0978-32-1437

第10回宇佐市森林・林業活性化
香下ダム議員植樹祭

香下ダムの桜並木

宇佐市議会では、平成17年の合併以降、森林活性化促進議員連盟を設立して、緑化育成促進と地域の自然環境保護のため、毎年植樹を行っています。

今回の開催地である「院内香下ダム」は、「両川地区まちづくり協議会」と「香下ダム湖畔祭り実行委員会」が石橋の貴婦人「鳥居橋」と香下ダム湖周辺で美観活動をしている自然景勝地です。

地元の皆さんも、「香下ダム千本桜」の構想を掲げ、早期達成に向けご尽力しています。

去る12月2日に、市議会としても、「千本桜」の一翼を担って、より魅力的な自然空間の広場にしようと、24本の桜を植樹しました。

12月定例会　○平成26年度一般会計補正予算案を可決

≪目次≫

新年ごあいさつ、議員より一言……P.2～3
議決結果一覧……P.4～5
一般質問……P.6～11
市民の声、編集後記……P.12

議会ホームページ　http://www.city.usa.oita.jp/cgi-bin　✉giji04@city.usa.oita.jp

新年のごあいさつ

議長
徳田 哲

新年、明けましておめでとうございます。ご家族の皆様おそろいで新年をお迎えのことと存じ、心よりお慶びを申し上げます。昨年も議会に対し深いご理解とご協力賜り、深甚なる謝意を表す次第であります。私も議長就任以来、早2年を迎えようとしておりますが、その間、行政と議会で切磋琢磨し市民生活の安定と福祉の向上のために、努力を致して参りました。お陰様で良い緊張状態の中で議会運営が出来ていると思っております。

今年は合併して10年を迎えますが、過疎化、少子・高齢化社会に対応した社会福祉の充実、教育・文化・農林漁業・商工業・観光等の振興発展、また、ゴミ焼却場建設等々課題が山積いたしておりますが、お互いが叡智を集めて解決いたしたく努力する所存であります。

どうぞ、市民の皆様方のご協力とご理解を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

本年も、宇佐市そして市民の皆様にとって良き年でありますようにご祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

副議長
佐田則昭

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

市町村合併して十年目の今年は、国は地方創生において、地方が計画立案によって支援する方針です。そこで、当市においても第二次宇佐市総合計画基本構想が策定されました。社会資本整備、農政、商工、福祉、教育等に支援を受けるため創意工夫して内容を十分に検討し、当市が活性化し元気になるよう努力したい。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

議員より一言

後藤竜也

思いをカタチに、まっすぐに、初心を忘れず、突き進んで参ります。物事の本質を見つめ、建設的であることを念頭に置き、市政発展のため、努力いたします。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

河野睦夫

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。市議会へと送り出していただき4年を迎える本年、皆様から託された思いや役割を全うできるよう、「子育て支援」「福祉施策」「教育問題」等に取り組んでいく所存です。

広崎譲二

新春のお慶びを申し上げます。早いもので新春のあいさつも四度目となりました。4年間一貫して一次産業の充実・雇用の拡大・若者の定住をテーマに取り組んでまいりました。みなさま方の生活がより豊かになるよう尚いっそうの努力をする所存です。

衛藤義弘

一年間の感謝とお礼を申し上げます。皆様にとってすばらしい年でありますように。「あなたの声をかたちに」をモットーに、議員活動に邁進してまいります。宇佐市の諸問題に全力で取り組んでまいります。

河野康臣

輝かしい新年を迎えられましたことは、誠に喜ばしいことでございます。世の中が平和であり、家庭が円満であられますことをご祈念申し上げ、ご祝詞とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

井本裕明

謹賀新年、明けまして、おめでとうございます。皆様方におかれましては、良き新年をお迎えのことと存じます。本年は合併10周年を迎えるにあたり初心を忘れず切磋琢磨して頑張ります。

辛島光司

皆様と共に、新年を迎えるにあたり、心よりお慶び申し上げます。

『5つの約束』①出産・子育て対策②スポーツ振興③教育環境④人の元気アップ⑤街の元気アップを柱とし〝宇佐市再生〟に取り組みます。

今石靖代

4期目の挑戦の年です。日本共産党は全国で躍進の流れを築いています。平和・暮らしを守ってほしいというみなさんの願いに応えられるように、対決・対案の立場で、共同を広げて頑張ります。

中島孝行

新年のお慶びを申し上げます。政府の地方創生（ひと・まち・しごと）や、東九州高速道の開通等を機会に、宇佐市浮揚の年にすべく、当市の環境整備・

木下一夫

地域の活性化に全力を傾注します。

「挙措進退」

新春の劈頭にあたり、市民、皆様の栄光を御祝詞申し上げます。進は精進であり、退くは繋ぐことである。持続可能な「宇佐市」を目指して若武者に繋ぎたい。ご指導ください。

加来栄一

明けましておめでとうございます。

本年も市民の皆様の代弁者として宇佐市全体の発展のために議会活動に全力で取り組んでまいります。ご指導とご協力をお願いいたします。

新開洋一

明けましておめでとうございます。

本年が皆様方にとりまして、良い年でありますよう御祈念申し上げます。皆様方のご意見、ご要望等をお聞きしながら、公平、公正に市政に反映したいと思います。

林　寛

迎春。新年あけましておめでとうございます。議員の本意は「常に行政と対峙し、しっかりと物申すこと」であります。原点に立ち帰り、皆様と共に行動します。「主権在民」「愛郷無限」の想いです。頑張ります。

用松律夫

謹賀新年

今年も国民の安全と市民の命や暮らしを守るため、全力で邁進する決意でございます。

本年もご指導、ご教示を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

大隈尚人

新年明けましておめでとうございます。本年も教育・福祉・環境の保全・産業の振興・スポーツの推進をモットーに皆様の声を市政に届けます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

衛藤正明

新年、明けましておめでとうございます。今年も皆様方にとりまして良い年で有りますようにお祈りいたします。市民の方々の声を行政に反映させ、少子化、高齢化に伴う諸問題や過疎対策に努力してまいります。

宮丸龍美

謹んで初春のご祝詞を申し上げます。輝かしい新春を迎え皆様のご清福をお祈り申し上げます。本年も何卒よろしくお願いいたします。『誠意を尽くす』をモットーに頑張ります。

筌口　孝

新春のお慶びを申し上げます

今年のえと「未」のように穏やかで温かい年となることを願うもので真実を見極め地域の活性に向けて頑張ります。ご愛顧をお願い致します。

永松　郁

新年は、人心を一新する契機となってこそ意議あるものと言え、「一年の計は元旦にあり」と言われるように、将来を考え、新たな年の計画を立て、宇佐市の新しい希望の出発点となるように頑張ります。

斉藤文博

あけましておめでとうございます。今年は私の干支「未年」で、還暦という人生の節目です。本年も過去を振り返りながら市民の声、農家の声を「常に生活者の立場」で市政の場で反映していきたいと思います。

浜永義機

「士は、以て弘毅ならざるべからず」広い見識と強い意志力をもって事にあたらなければならないという意味ですが、私も「志ある者は事竟になる」という気持ちで今年も頑張りますので、よろしくお願いします。

衛藤博幸

「0」と「1」の違い。

まず一歩を踏出す事の大切さ。「道近しと言えど行かざれば至らず。」今年もまず一歩を踏出すことを心掛けたいと思います。更なる発展と幸のために‼

相良公治

新年、明けましておめでとうございます。6期23年間「自我開道」の精神で働きました。皆様方の応援、心から感謝を申し上げます。今後は経験を生かし微力ながら宇佐市発展のため貢献していきたいと決意をしています。

久保繁樹

新年明けましておめでとうございます。皆様にとって幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

議員として「公私の公」か「公私の私」考慮多き昨年でありました。

宇佐市の為の「私」でありたいと！

平成26年12月第４回宇佐市議会（定例会）議決結果一覧

○議　案

番　　号	件　　名	付託委員会	結　果
議第９４号	平成２６年度宇佐市一般会計補正予算（第４号）	各常任委員会	原案可決
議第９５号	平成２６年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第２号）	文教福祉	〃
議第９６号	平成２６年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	建設環境	〃
議第９７号	平成２６年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算（第２号）	〃	〃
議第９８号	平成２６年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	〃	〃
議第９９号	平成２６年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）	〃	〃
議第１００号	平成２６年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算（第２号）	文教福祉	〃
議第１０１号	平成２６年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	〃	〃
議第１０２号	宇佐市自治基本条例の制定について	総　　務	〃
議第１０３号	宇佐市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	〃	〃
議第１０４号	宇佐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃	〃
議第１０５号	宇佐市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び宇佐市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	〃	〃
議第１０６号	宇佐市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃
議第１０７号	宇佐市奨学資金に関する条例及び藤・稲尾奨学資金に関する条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第１０８号	宇佐市安心院文化会館条例の一部改正について	産業経済	〃
議第１０９号	宇佐市社会体育施設条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第１１０号	宇佐市国民健康保険条例の一部改正について	〃	〃
議第１１１号	宇佐市地域交流ステーション条例の一部改正について	産業経済	〃
議第１１２号	宇佐市若者定住促進住宅条例の一部改正について	建設環境	〃
議第１１３号	宇佐市景観条例の一部改正について	〃	〃
議第１１４号	宇佐市家畜導入事業資金供給事業基金条例の廃止について	産業経済	〃
議第１１５号	第二次宇佐市総合計画基本構想及び前期基本計画の策定について	各常任委員会	〃
議第１１６号	市道路線の認定及び廃止について	建設環境	〃
議第１１７号	工事請負契約の締結について	文教福祉	〃
議第１１８号	不動産の取得について	総　　務	〃
議第１１９号	訴え提起前の和解申立てについて	建設環境	〃
議第１２０号	指定管理者の指定について（宇佐市院内老人憩いの家及び余温泉）	文教福祉	〃
議第１２１号	指定管理者の指定について（宇佐市葬斎場やすらぎの里）	建設環境	〃
議第１２２号	指定管理者の指定について（宇佐市勤労者総合福祉センター）	産業経済	〃
議第１２３号	指定管理者の指定について（家族旅行村「安心院」・宇佐市安心院Ｂ＆Ｇ海洋センター・宇佐市安心の里交流施設）	〃	〃
議第１２４号	指定管理者の指定について（特産館安心院の里）	〃	〃
議第１２５号	指定管理者の指定について（宇佐市余谷棚田交流施設）	〃	〃
議第１２６号	指定管理者の指定について（宇佐市天津農村婦人の家）	〃	〃
議第１２７号	専決処分の承認を求めることについて	総　　務	原案承認
議第１２８号	宇佐市固定資産評価審査委員会委員の選任について	省　　略	原案同意

○請 願

番　　号	件　　名	付託委員会	結　果
請願第１２号	「農業者トレーニングセンターの改修について」の請願書	産業経済	採　　択
請願第１３号	市道「大重見線」道路改良工事に関する請願書	建設環境	〃
請願第１４号	米価下落に関する打開策を求める請願書	産業経済	〃
請願第１５号	西椎屋地区景観保全、観光地開発を求める請願書	〃	〃

○閉会中継続審査の議案審議結果

番　　号	件　　名	付託委員会	結　果
議第８３号	平成２５年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	原案認定
議第８４号	平成２５年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	〃
議第８５号	平成２５年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
議第８６号	平成２５年度宇佐市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設環境	〃
議第８７号	平成２５年度宇佐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
議第８８号	平成２５年度宇佐市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
議第８９号	平成２５年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
議第９０号	平成２５年度宇佐市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	〃
議第９１号	平成２５年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃

○閉会中継続審査の請願審議結果

番　　号	件　　名	付託委員会	結　果
請願第１０号	集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求め、立法化に反対する意見書の提出を求める請願書	総　　務	不採択

○賛否の分かれた議案採決結果

議案番号		後藤竜也	河野睦夫	広崎譲二	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	中島孝行	木下一夫	加来栄一	新開洋一	林　寛	用松律夫	大隈尚人	衛藤正明	宮丸龍美	佐田則昭	筌口　孝	永松　郁	斉藤文博	浜永義機	衛藤博幸	相良公治	久保繁樹	徳田　哲
議第８３号	平成２５年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	議長につき表決なし
議第８４号	平成２５年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第８５号	平成２５年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第９１号	平成２５年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第９４号	平成２６年度宇佐市一般会計補正予算（第４号）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第１０２号	宇佐市自治基本条例の制定について	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第１０４号	宇佐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第１０５号	宇佐市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び宇佐市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第１１５号	第二次宇佐市総合計画基本構想及び前期基本計画の策定について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
議第１２３号	指定管理者の指定について（家族旅行村「安心院」・宇佐市安心院Ｂ＆Ｇ海洋センター・宇佐市安心の里交流施設）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	

賛成＝◎　反対＝×　退席＝△

市政一般に対する質問

３日間で11名の議員が一般質問を行いました。各議員の一般質問は、紙面の関係上、質問の一部を抜粋して載せています。

河野 康臣‥‥Ｐ６
大隈 尚人‥‥Ｐ７
辛島 光司‥‥Ｐ７
用松 律夫‥‥Ｐ８
後藤 竜也‥‥Ｐ８
衛藤 義弘‥‥Ｐ９
河野 睦夫‥‥Ｐ９
広崎 譲二‥‥Ｐ10
今石 靖代‥‥Ｐ10
斉藤 文博‥‥Ｐ11
加来 栄一‥‥Ｐ11

◆◆お知らせ◆◆

●３月定例会の予定について

- 開　　会　２月２４日（火）１０：００
- 一般質問　３月　３日（火）　〃
  　～５日（木）
  　３月　９日（月）１０：００
- 議案質疑　３月　９日（月）　〃
- 常任委員会
  （文教福祉・建設環境）３月10日（火）10：00～
  （総　　務・産業経済）３月11日（水）10：00～
- 閉　　会　３月１７日（火）　〃

※本会議はいつでも傍聴できます。

図書館教育の充実を！

河野康臣（市民クラブ）

問①　教職員病休者のこの４年間の推移は。

答　23年度11人だったものが、26年度４人となり、メンタルと共に減少傾向にある。

問②　多忙化解消・健康を守る取り組みは。

答　「ノー残業デー」などの職場改善や声掛けに取り組んだ。校長主導の受診推進や過重勤務緩和などに取り組むよう指導。

問③　小中学校周辺道路の整備状況は。

答　グリーンベルトの整備を、11校周辺の市道４㎞で行った。

問④　南北に延びるフラワーロードの花壇撤去・歩道拡幅はできないか。

答　改修計画を検討したい。

問⑤　司書など職員配置への現状は。

答　「図書館コーディネーター」（学校司書）を配置し、学校図書館の機能充実・強化に努めている。

問⑥　学校図書の充足状況は。

答　平均充足率97％で今年度末には全学校で１００％に到達する。

問⑦　江熊地区での両親殺害・自死事件を教訓に、地域のコミュニティをどう進めるか。

答　市民の方々が一人で悩み苦しむ状態を救済するには、身近で気軽に相談できる体制が必要である。関係機関と協議を重ね、体制作りを目指したい。

問⑧　幼児・児童虐待の増加に対する対策は。

答　発生予防、早期発見、早期対応が必要である。相談体制の整備、全戸家庭訪問が必要である。医療機関、保健師など関係機関や児童相談所との連携を強化し、初期対応に努める。

問⑨　宇佐ブランドの海外展開並びにそれと引き換えの空き家利用による外国商品のアンテナショップ販売はできないか。

答　宇佐ブランドの海外展開については、来年度から計画している。空き家利用のアンテナショップは、商店街づくりの研究課題と考えている。

妙見荘について

大隈尚人（市民クラブ）

問①　宇佐市立妙見荘について今後どのような運営を考えているのか。また、どのくらい過疎債が交付されているか。

答　運営については、民間の場合は、一括返済が発生するが、指定管理制度の場合は、最長5年の更新ができ、剰余金の市への納入など新たな収入の確保も期待できるので、公設民営方式の採用を考えている。また、過疎債については、計算上では、昨年度末で約1億6，700万円が交付されている。しかしながら平成27年度には、地方交付税措置分もすべて使い果たし、赤字となる見込みである。

問②　保育園の入園について、入園する際、親に職がなくても入園できるようにしたらどうか。

答　保護者の就労がなくても、平成27年度から認定子ども園では入園できるようになっている。

問③　飼料米について、どの様にすれば作付けできるのか。

答　宇佐市農業再生協議会が取りまとめる営農計画書へ記入し、合格すると、数量に応じて10アール当たり5万5千円から10万5千円の幅で交付するようになっている。

問④　合併10周年記念について、市民に対して印象に残るような記念行事にすべきではないか。

答　全国門前町サミットを本市で開催することや東九州自動車道もほぼ開通する見通しであり、宇佐神宮の勅使祭やＪＲディスティネーションキャンペーン等の大きなイベントと併せて開催する予定である。

問⑤　石橋の管理について、小さな石橋など管理がよくないと聞くが、再度、院内町全体の石橋の管理を見直すべきではないか。

答　今後も、2年に一度の定期点検を実施するとともに、維持管理も含めた石橋全体の再度の見直しを考えている。

「宇佐市再生」を目指して

辛島光司（照政会）

問①　〝出産・子育て対策〟について、少子化の解決策として、最大の課題である経済的負担の軽減を訴えてきたが、4月からの新制度において、保育料が軽減される見込みとなった。そこで、もう一つの大きな課題、働きながら育てやすい環境づくりにおいて、今後の取り組みは。

答　来年度より「子育て応援企業認証制度」を実施、推進企業が社会的に評価される仕組みをつくる。

問②　〝教育環境〟について、今秋にＰＴＡ連合会より提出された要望書において、「教育環境の改善に関する要望」に対して、真摯に受けとめ、前向きに検討するべきだが。

答　教室へのエアコン整備・トイレの洋式化・プールの改修等があり要望の実現に努める。

問③　〝スポーツ振興〟について、旧ポリテクセンター跡地が、スポーツ拠点施設となる。名称や運用方針等は。

答　名称は、公募も検討している。要望や運用方針は、利用団体や地元と協議していく。

問④　〝人の元気アップ〟について、昨今の経済情勢、自治体間での誘致合戦、企業誘致は大変難しい状況だと思うが、現在の取り組みと今後は。

答　宇佐市工場等設置促進条例を改正し、優遇制度を大幅に拡充した。トップセールスに努め、積極的に推進する。

問⑤　〝街の元気アップ〟について、柳ヶ浦駅を核とした北部交流拠点としての整備推進において、現在の取り組み状況は。

答　周辺整備の基本構想に着手した。現在、個別ヒアリングを行い、課題や要望等について意見を伺っている。今後は、関連する事業者等との連携調整や、住民や学生等を対象としたワークショップを開催する。

問⑥　〝かんぽの郷うさ〟について、施設の貸付先は。

答　経営改善計画書の提出を求めた上で、㈱サングリーンへの貸付を検討する。

保護者負担の軽減に努める

用松律夫（日本共産党）

問① 教育問題について。

(1) 憲法26条で義務教育は無償と定められているにもかかわらず、宇佐市は他市にみられないような公費外負担が平均年額で一人あたり小学生で3，266円。中学生で9，943円に上ると言われており、なくすべきだ。

答 消耗品費や燃料費など増額してきたが、実態を調査し、さらなる軽減に努める。

(2) 市内のある中学校では校長が5ヶ月以上事実上不在だが、是正すべきではないか。

答 県教委と協議中だ。

問② 国へ消費税増税中止の声を上げるべきではないか。

答 増税は、財源確保や健全化への一歩と認識している。

問③ 米価下落の緊急対策を。

答 ナラシ対策や県の金融支援が実施できるよう周知を図る。

問④ 市営住宅について。

(1) 入居の保証人は同等の収入のある者と規定されているにもかかわらず、60歳以下の者を求めているが、是正を。

答 60歳以下とお願いはしているが、住宅法などには年齢要件は明記されておらず、60歳以上でも認めている。

(2) 全入居者へのアンケート調査などで要望をつかみ、改善を。

答 居住者の意見を聞きながら環境の整備に努める。

問⑤ 北馬城の発電所について。

(1) 工事の中止命令の後、大型建設機械などで工事を再開しているが、届出はあったのか。

答 業者からの申し出はない。山の一部が土砂災害警戒区域に指定されていることは認識しており危険度が高い。

(2) 業者からの開発申請があった場合、市長は地元の同意がない限り、県へ反対の意見を述べるという立場を貫くのか。

答 森林法に基づき災害防止、環境保全及び地元の意向など総合的に判断し、具申したい。

問⑥ 平和資料館に憲法9条のコーナーを。

答 命の尊さ等を考える展示をめざす。

駅周辺整備、子育て等

後藤竜也（忠政会）

問① 子育てに関して、新制度における保育料補助で、市の大きな英断をいただいた。今後の子育て支援への取組み、市と幼・保連携の取組みを問う。

答 保育料の設定に関して、国基準の保育料では保護者負担が大きいので、基準の7割を上限に補助することを仮決定した。今後も、子ども子育て会議の中で十分に意見をお聞きしながら子育て支援事業計画を策定し、環境の整備に努めていきたい。また、幼稚園、保育園共に窓口が市に一本化されたので、連携を図る上でも、相互の意思疎通の場の設置を協議していきたい。

問② 柳ヶ浦駅周辺整備に関して、市として、基本構想をどのように考え、進めていくのか。大方針を打ち出し、踏み出さなければ前に進まないのでは。

答 現在、基本構想の策定に着手しており、関係16団体に聞き取り調査を行い、事業者、住民、学生からも意見を伺った上で今年度末にまとめることとしている。柳ヶ浦駅を玄関駅として、県北地区の交通結節点として、機能強化を図り、北部交流拠点として整備を推進していく。

問③ 平和ミュージアム構想に関して、建設予定地決定の目途は。また、忠魂碑や戦没者慰霊碑の扱いはどのように考えているのか。平和ミュージアム内に設置すべきでないか。

答 現在、構想委員会に於いて議論を頂いており、近日中に建設予定地の調査結果を頂く。それを参考にして市が決定する。忠魂碑に関しては、市が直接関与するものでは無いが、所有者の意向や県との協議を重ねながら、移転候補地の決定について協力していきたい。戦没者慰霊碑に関しては、遺族の高齢化に伴い、維持管理を国が対応すべきとの意見を受けて、厚労省が状況調査している。今後の国の対応を注視していきたい。

宇佐市の活力・介護の総合窓口を

衛藤義弘（公明党）

問①　訪日外国人観光客の集客について。

(1)　外国人の集客計画と戦略は。

答　海外からの観光客の接客、ガイドのサービスの整備・充実が重要。観光案内板・観光アプリや語学力と観光ガイドの育成など計画的に進める。

(2)　外国人観光客向け低額タクシーで魅力をアピールし、リピーターを増やす考えは。

答　韓国人観光客用タブレットの観光案内に宇佐市の登録を考えている。

問②　地域包括ケアシステムの構築について。

(1)　要援護者本人とその家族が、住み慣れた地域で安心して生活が送れる、総合的かつ効果的な支援の取り組みは。

答　各地域包括支援センター毎に高齢者見守りネットワーク会議を開催しているので、この組織の充実・強化を進め地域課題の解決の場とする。

(2)　認知症患者（徘徊の方）家族に、GPSによる徘徊高齢者家族支援サービスを開始しては。

答　地域での見守りの強化をしていく。提案の内容は、今後の検討課題である。

問③　地域おこし協力隊で若者定住促進と地域活性化のための隊員増加の計画は。

答　都市住民を受け入れて、「地域協力活動」に従事し、定住・定着を図る制度であり、来年度も2～3名の隊員の増加を検討している。

問④　企業誘致について。

(1)　企業誘致の現状とアクション（攻めの戦略）の状況は。

答　8社の新規立地と7社の大型増設が実現。緑地面積率を従来の一律「20％以上」から「5％以上」に大幅に軽減、条例の優遇制度の拡充や3種の奨励金を新設し、県下トップクラスの内容改正とした。

(2)　企業誘致の成功はトップセールスだ。市長の考えとアクションは。

答　出張を活用し経済界等にPRとスピード感で取り組む。

土曜授業と学校給食について

河野睦夫（両院クラブ）

問①「土曜授業」について。

(1)「土曜授業」の目的は。

答　検討委員会（関係団体の代表者構成）での貴重な意見を受け、これまで以上に「個に応じたきめ細かい指導の充実」、「ゆとりある授業時数の確保と弾力性のある教育課程の実施」、「開かれた学校づくりの推進」を目的としている。

(2)　年間の実施回数は。

答　平成27年度は、年間8回、原則として第2土曜日の午前中に実施する予定である。

(3)　授業の内容はどういったものを考えているのか。

答　各教科の授業をはじめ、PTAの授業参観、地域のゲストティーチャーによる授業、地域との交流のための取り組み等、各学校の特色を活かした内容を考えている。

問②　学校給食のアレルギー対策について。

(1)　アレルギー疾患の把握は。

答　保護者との面談で児童・生徒の情報を把握し、教職員間で情報を共有している。

(2)　給食センターの対応状況は。

答　南部給食センターでは除去食で対応しているが、宇佐給食センターでは対応できていない。牛乳については、両センターで除去食で対応している。

(3)　症状が出た時の学校現場での対応は。

答　現在、市内では、アナフィラキシー症状を発症する可能性が高い児童が3名在籍している。当該校では緊急時に即対応できるよう「対応マニュアル」を作成し、常備しているエピペンの使用方法を全職員で研修している。

(4)　宇佐給食センターの施設改修は。

答　センター内に設置したアレルギー検討委員会において、施設の増設を含めたアレルギー対応室の設置場所、面積と設備について協議中であり、対応の実施に向けて進めている。

至急！小中学校トイレ洋式化

広崎譲二（未来の風）

問①　無形文化財について。

(1)　市指定文化財は、どれくらいあるのか。

答　指定文化財には、安心院神楽、北山神楽、庭入り。選択文化財には、鷹栖観音の鬼会、麻生神楽がある。

(2)　鷹栖観音の鬼会については、イベントの要素も有り、補助金等は付けられないのか。

答　地域・商工会などの連携が有れば、相談していただきたい。

問②　小中学校のトイレ洋式化について。

(1)　洋式トイレの普及はどうなっているのか。

答　普及率が少ない学校より、普及していく予定である。

(2)　普及率の計算の仕方は。

答　今ある大便器の全個数を分母に、洋式の個数を分子に、計算している。

(3)　洋式トイレ、1つ当りの生徒数を基準にすると、西部中学校61人、長洲中学校76人、四日市南小学校33人、豊川小学校40人となるが、どう考えているのか。

答　最重要課題であると認識している。

(4)　今後、どのように、計画を立てているのか。

答　耐震工事が、来年度で終了する。平成28年度より計画を立て、順次、洋式化していく予定である。

鷹栖観音鬼会

185億円ある基金は有効活用を

今石靖代（日本共産党）

問①　今後の財政について。

(1)　25年度の決算は約16億円の黒字で、基金総額は今年度末には185億円になる。自由に使える財政調整基金は約54億円になるが、市民の要望が様々ある中、有効に使うべきではないか。

答　合併特例措置の終了による普通交付税の逓減に加え、クリーンセンターの負担金や大型公共事業など収支が悪化することは避けられず、今後も必要だ。

(2)　合併特例措置後は、交付税が13億円減ると説明してきたが、国は半分程度増やす見直しをした。基金の根拠が見直されれば、有効活用できるのでは。

答　具体的には示されていない。

(3)　借金の利子が年額3億円にもなっているが、繰り上げ償還など節約の努力を。

答　難しいが努力はする。

(4)　25年度に国東市は、基金の運用益を2億円以上出している。取り入れるべきでは。

答　調査・研究を行っていく。

問②　医療問題について。

(1)　子どもの貧困率が16・3％と社会問題になっている。医療費は通院費も中学卒業まで無料にして、子どもの命や健康にかかわる支援を拡充するべきでは。

答　県が拡充すれば実施したい。

(2)　共産党のアンケートでは、国保税の負担が重く引き下げてほしいという声が約8割あった。負担を抑える努力をすべきだが。

答　国保は危機的な状況。他市の状況をみて、税率改正を検討。

問③　教育問題について。

(1)　中津市や豊後高田市も、教室のエアコン設置を進めている。ここ数年の異常気象を見ると、命と健康のためにもエアコン設置を急ぐべきだが。

答　学校・PTAからエアコン設置が学校要望の大半を占めるような状況の中、第3次学校教育施設整備計画で検討していく。

(2)　通学路の街灯設置の要望が多い。中学校区毎に総合的な点検をし、順次設置すべきだが。

答　地区での対応となり、要望が挙がれば協議していきたい。

恒久平和は市民の願い

斉藤文博（市民クラブ）

問①　恒久平和を求めて戦後70年の節目に企画を考えては。

答　平和に関する行事は戦争遺跡を巡る「平和ウォーク」、平和資料館においてミニコンサートと朗読会で恒久平和を願う「平和へのメッセージ」、終戦記念日には、戦争犠牲者を追悼する「平和のともしび」等を行っている。戦後70年という大きな節目に、これらの行事が記念イベントとして多くの市民が参加できるような取り組みが必要と考えている。また、平和ミュージアム（仮称）の建設は、今後、立地場所や展示内容などが具体的となり、建設の機運が高まる。さらに、市民図書館では現在、宇佐海軍航空隊の歴史をテーマにしたマンガ本を製作中であり、発刊後には記念講演会なども計画している。これらの関連事業を通して、戦後70年に当たって市民全体で恒久平和を願う機運を高めていきたい。

問②　柳ヶ浦駅の特急電車全便停車は利用者をはじめ、観光行政には不可欠である。エレベーター設置を機に、さらなる取り組みをするべきでは。

答　利用者の利便性向上のために停車する特急電車を増便するよう、日豊本線高架・複線化大分県期成同盟会を通じて要望活動を行っている。全便停車には、まず利用客の増加が必要であり、現在行われている柳ヶ浦駅のバリアフリー化工事により、多目的トイレ、駅前スロープ、エレベーターのすべてが3月までに完成予定で利便性が向上する。今後は、柳ヶ浦駅利用者の増加に向けた取り組みをより一層進めるとともに、引き続き特急電車全便停車を目指した要望活動を続けていく。

柳ケ浦駅バリアフリー化工事

宇佐消防署の取組、安心院町の緑の庄、若者定住について

加来栄一（日新会）

問①　宇佐市の女性消防士採用について、採用計画はどの様に検討しているか。

答　県内に16名の女性消防士が活躍している。今後も合格を期待している。

問②　安心院町の緑の庄について。

(1)　その後の経過はどうなっているか。

答　協定書の締結に向けて誠意をもって対応に努めている。

(2)　市はメガソーラーの今後をどの様にとらえているか。

答　再生可能エネルギー設備を「工作物」の定義に追加し、市への事前に届け出の義務付けをし、適正な景観誘導を図っていく。

問③　教育問題について。

(1)　教育委員の人数を増員すべき。

答　新制度でも条例で定めれば委員の増員は可能となるが、現行の人数で維持していきたい。

(2)　主任手当を教育委員会はどうとらえているか。

答　主任手当を拠出するということは主任制度及び主任手当支給の趣旨に対する不信を招き、人材確保法の趣旨を損なうおそれがあると認識している。

(3)　臨時講師を減らす計画は今後どうなるのか。

答　機会あるごとに正規採用教員を適正に配置するよう要望してきたが、今後も引き続き強く要望していく。

(4)　宇佐市ではミニ懇は行われなかったのか。

答　ミニ懇は実施されていない。

問④　指定管理者制度と指定管理者について、指定管理の現場の状況をもっと確認すべき。

答　事業報告と業務報告の提示と年一回の現地調査をしている。

問⑤　若者定住促進について、家の建築補助金制度をゆるめるべきでは。

答　若者定住を促進させる観点から条件緩和に向け検討する。

12月定例会

平成26年12月定例会を12月2日から12月19日までの18日間の会期で開催しました。

初日に、平成25年度宇佐市一般会計歳入歳出決算・各特別会計歳入歳出決算、合計9議案を認定しました。上程した議案は追加を含め35議案で、すべてを原案のとおり可決・承認・同意しました。

また、「かんぽの郷宇佐」取得後の管理運営に関する調査・研究のため、委員10名で構成する「かんぽの郷宇佐」取得後の管理運営に関する特別委員会を設置し、調査終了まで閉会中の継続審査としました。

「かんぽの郷宇佐」取得後の管理運営に関する特別委員会

（10名）

◎広崎 譲二　○後藤 竜也
河野 睦夫　浜永 義機
衛藤 正明　筌口 孝
中島 孝行　辛島 光司
大隈 尚人　宮丸 龍美

（◎は委員長、○は副委員長）

委員の選任

《固定資産評価審査委員会委員》

田口（たぐち） 英之（ひでゆき） 氏（猿渡）

各委員会の研修報告

◎文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では平成26年10月20日から22日にかけて、茨城県土浦市において、『茨城型地域ケアシステム』、群馬県高崎市において『学校給食』について、視察研修を行いました。

◎建設環境常任委員会

10月21日から23日にかけて、滋賀県彦根市において「夢京橋キャッスルロード整備事業、歴史と伝統の景観形成施策」、福井県敦賀市において「JR敦賀駅並びに駅周辺整備」について、行政視察研修を実施しました。

市民の声

議会の傍聴に幾度も足を運ぶと、その流れがわかる。一般質問では、決まって市長、部長、課長の順に答弁する。おそらく議会の「きまり」みたいなものがあるのだろう。私が通った議会は、必ずこの流れのようだった。去る九月議会で次のような疑念を持つ場面があった。それは、ある議員が女性職員の幹部登用について質したところ、答弁が部長で留まったことだ。市長がこの事案を軽視したとは思い難いが慣例として部長が答弁したのだろう。私は、市民の一人一人が何を求め、何を期待しているかを市長をはじめ要職の皆さんが一番よく承知のはずだと思う。従って状況によっては、直に順応できる姿勢であってほしいと願う。議会とは、そうした市民の思いをお互いの理念と見識によって付託に応えるべきと信じている。やがて、お国も、地方創生とか女性の感性とかを重視しようとしているではないか。そうした時代の流れに乗じて我宇佐市も古い「しがらみ」を捨てて、新しい改革の風を吹かせてみませんか。

（N・S）

編集後記

平成27年新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

現メンバーでの「議会だより」も今号で最後となりました。慣れない編集作業で、少なからず至らぬ点があったかと思いますが、この2年間ご愛読を賜り、心より感謝申し上げます。

平成26年の宇佐市を振り返りますと、是永市長を先頭に、様々な施策や事業を展開しながらも、市の借金は減り、貯金は着実に増えてきました。しかし、27年度より合併の恩恵であった特例交付税の縮減が始まります。今後5年間で約13億円が縮減されます。これは、25年度の一般会計の総収入の4％強が消える計画になります。議会と行政が率先して血と汗を流す姿勢を示し、更なる行財政改革を推し進めていかなければなりません。「宇佐市再生」に向け、これからも様々な取り組みを展開していくことでしょう。私も微力ではありますが、粉骨砕身の意気込みで頑張りぬこうと思います。皆様におかれましても、宇佐市政への更なるご理解・ご協力を賜りますよう、お願いいたしまして、編集後記とさせていただきます。2年間、ありがとうございました。

（辛島光司）